



9月1日は防災の日 みんなで防災訓練へ！

防災課

わが国では、毎年のように地震や台風等の自然災害が発生し、さらに近年では局地的大雨や土砂災害、河川の氾濫等による被害も多発しています。

昨年7月には、梅雨前線及び台風第7号の影響により、日本付近に暖かく非常に湿った空気が供給され続け、西日本を中心に記録的な大雨となり各地で河川の氾濫による浸水や土砂崩れ等が発生し、特に岡山県、広島県及び愛媛県においては、多数の死者が発生するなど甚大な被害が発生しました。

今年も梅雨前線の影響で、九州を中心に被害をもたらしています。

また、昨年の9月に発生した、北海道胆振地方中東部

を震源とする地震では、最大震度7を観測し、この地震により、強い揺れを観測した地域では、住宅の倒壊や道路の損壊が多発したほか、大規模な土砂崩れが広範囲で発生し、山裾の住宅が土砂に巻き込まれるなど、多数の人的被害が発生しました。

今年も震度6強を観測した地震が発生しており、また、近い将来においては、首都直下地震や南海トラフ巨大地震が発生する切迫性も指摘されています。

自らの安全を守るためには、平時より災害に対する備えに心がけ、日ごろから地域住民や企業等と連携して、お互いに助け合うことが大切です。

防災訓練に参加して習得しよう！

<消火器の使用方法>

消火器は初期消火に有効です。
正しい使用方法を覚えましょう！



※火の根元を狙い、手前からほうきで掃くように消火剤を放射しましょう。

<応急救護の方法>

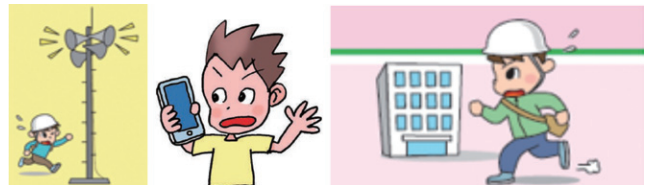
応急救護の方法について学びましょう！

消防署等で行われる救命講習会では軽いけがの処置をはじめAEDを使用した心肺蘇生法について学ぶことができます。



<情報入手手段、避難場所及び避難経路の確認>

防災行政無線や緊急速報メールなどの多様な情報入手手段、また、災害時に避難する場所、そこまでの安全な避難経路を確認しましょう！



<地域住民等で協力して行う救出方法を学ぶ>

大規模災害時には、119番通報が殺到し、消防車や救急車がすぐに現場に向かえない場合も多々あります。地域のみんで協力し合って救出できるようにしましょう！



自然災害に対し、被害を最小限に抑えるためには、国民一人ひとりが正しい知識を身につけ、いざというときに落ち着いて的確な対処行動をとることが重要です。災害に対する備えは、日ごろの防災意識や防災訓練の体験によって培われますので、そのためにも、各地方公共団体、企業、地域コミュニティ等で行われる防災訓練に積極的に参加することが望まれます。

防災訓練では、情報の収集伝達、避難・誘導、初期消火、応急救護、地震体験等、実践を踏まえた経験をするにより、一人ひとりが災害発生時の対応策を身につ

けることができます。

国や地方公共団体では、毎年9月1日の「防災の日」や8月30日から9月5日までの「防災週間」、11月5日の「津波防災の日」を中心に防災訓練が行われますので、積極的に参加し、「いざ」という時に対応できる力を身につけましょう。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部 防災課
TEL: 03-5253-7525